



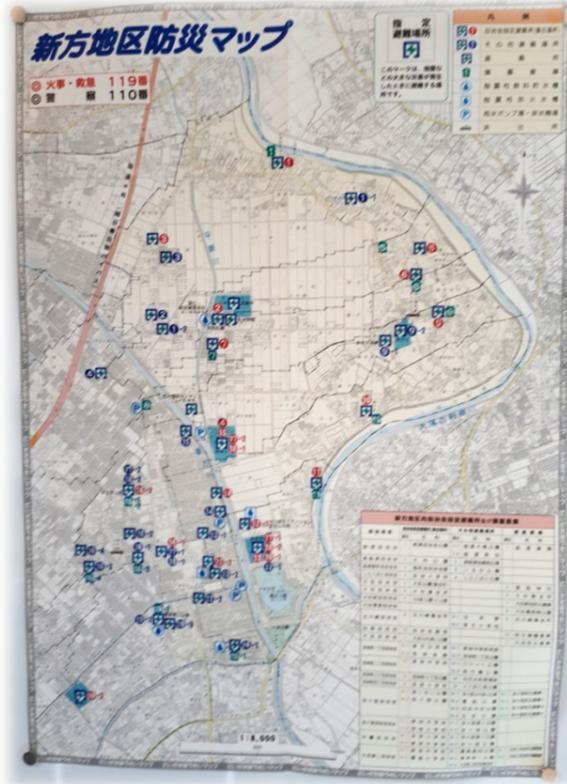
### 3月定例議会 予算特別委員会より

3月2日～7日(土日を除く)の5日間、予算特別委員会が開催されました。私は副委員長を拝命し、委員長を支えるとともに予算特別委員会の円滑な進行、そして慎重審議が行われるように努めました。尚、私の主な質問について記載させていただきます。

#### 地区防災マップ作成について

**【福田質問】**地区防災マップの作成についての具体的な内容は？13地区単位での防災マップ作成の他、自治体単位で実行することにも大きな意味があると考えますが執行部の考えは？

**【執行部答弁】**防災マップ作成は地区まちづくり助成金を活用し、各地区のコミュニティ推進協議会を中心として13地区を2カ年にわけて実施する。この防災マップは地域住民が自ら作成し、地域の防災状況をプロットした(描画した)地図である。地域にどれくらいの防災力(避難所、自主防災組織、防災倉庫等)があるかを把握することが可能となる。また共助の精神を育むことも可能となると考える。そして自治会単位での防災マップ作成は、震災であれば避難経路等を自ら調査し共有することが可能であるし、水害であれば道路冠水の場所の調査、共有につながり、大変意味のあるものだと考える。自治会単位の防災マップ作りは出張講座などを通じて、取り組みを支援していきたい。



(以前に作成された地区防災マップ:新方地区)

### 3月定例議会 予算特別委員会より(続き)

#### ひきこりの方の高齢化・長期化への対応

**【福田質問】**ひきこりの方に高齢化・長期化の傾向があり、多くの課題がある。市としての取組は？

**【執行部答弁】**国の調査から推定すると越谷市には15歳～39歳までのひきこりの方の人数は1500人弱と考える。14歳以下、40歳以上の方も含めると更に増えると推測される。またひきこりになってしまった本人の高齢化と同時に親の高齢化も大きな課題としてあげられている。本市の保健所、精神保健支援室では「ご家族の集い」「本人の居場所(集い)」を開催したり、保護者の方のニーズにこたえるため、親亡き後の金銭面に対する講演などを実施している。

#### 【その他質問】

- ・がん検診の対象年齢の考え方及び中学生からのピロリ菌検査の実施について
- ・救急指令室および救急車での多言語対応(外国人対応)について
- ・水害対策 応急ポンプ設置の取組について

#### 平成30年度予算規模

・一般会計	915億円 (前年度比 1.2%増)
・特別会計(9会計)	652億3200万円 (前年度比 9.4%減)
・病院事業会計	117億5000万円 (前年度比 0.3%減)
<b>総額</b>	<b>1684億8200万円</b> (前年度比 3.3%減)

### 3月定例議会 請願より

#### 請願「日本国憲法第九条の改正の発議については、慎重に取り扱うよう国会に意見書の提出を求める件」

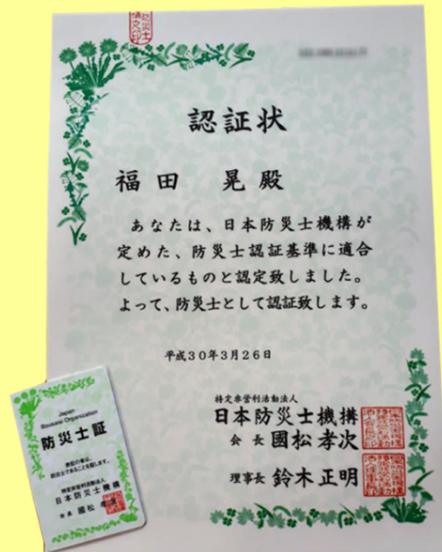
本請願の主旨は、「憲法9条の改正は国民の意見が分かれており期限を定めず、十分に議論してほしい」というものです。私が請願提出時点で感じていた主な疑問だけでも下記のようなことがあります。

- ・安保法制(集団的自衛権)の在り方自体に疑問をもつ人が多い中での9条改正の意味
- ・そもそも合憲であるという認識が高い自衛隊を憲法に明記することの意味
- ・自衛隊を記載した場合の法的な位置づけ
- ・「自衛隊」/「自衛権」言葉の違いの意味
- ・国民投票の事前活動の在り方(平等性と宣伝費用)
- ・国民投票で否定されることの意味

また、自衛隊を警察と同じ権限として捉える考え方や現在の政府解釈(限定的集団自衛権)をそのまま国民投票にかけてみる。(否定されれば個別的自衛権だけの従来解釈に戻す)などの考え方もあります。憲法は勉強すればするほど難しく、より多くの議論を通じ国民に周知し理解を得て、改正が必要であるという雰囲気を作り出していくことがとても重要だと思います。そして立憲主義に基づけば、国民の一定の理解のなかで合意が得られることが重要なのは、言うまでもありません。上記理由等により私は賛成の立場で紹介議員になりましたが請願は少数で否決されました。

#### 防災士の資格を活かして

平成30年3月に防災士の資格を取得しました。この度の予算特別委員会では、防災士の講習や試験勉強で学んだ知識を活かし、災害対策、防災分野での質問を実施させていただきました。今後とも災害対策に力をいれて取り組んでいきたいと思っております。



#### 緊急輸送道路閉塞建築物改修促進事業について

**【福田質問】**緊急輸送道路閉塞建築物の対象数は？また連絡がとれない家主はいるのか？

**【執行部答弁】**対象は11棟(病院1棟、共同住宅3棟、事務所6棟、倉庫1棟)で連絡がとれない家主はいない。

※緊急輸送道路は、災害時等に救急救命や消火活動、物資の輸送等で大変重要な道路となり、地震時の建物倒壊による道路閉鎖を防ぐことは、地域住民の生命と財産を守るうえで極めて重要となります。このため、一定条件下にある沿道建築物について、耐震診断の補助を実施しています。



#### 越谷市新庁舎の形が見えてきた！



平成25年4月に市長の附属機関として設置した  
 ①越谷市本庁舎整備審議会、からはじまり  
 ②本庁舎整備基本構想策定  
 ③本庁舎建設基本計画策定  
 ④「新庁舎建設基本設計」市民ワークショップの実施  
 ⑤新庁舎建設基本設計(素案)の市民説明会の実施  
 ⑥新庁舎建設基本設計(素案)に対する意見公募を経て**越谷市新庁舎建設基本設計が作成されました。**  
 これにより新庁舎の形が見えてきました。

